



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5707 URL <https://www.toho-zinc.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸崎公康
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 田邊正樹 (TEL) 03-6212-1716
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	110,106	19.5	6,253	△29.3	5,312	△34.1	4,195	△39.4
2022年3月期第3四半期	92,106	24.7	8,847	190.9	8,064	136.0	6,924	500.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 9,074百万円(44.2%) 2022年3月期第3四半期 6,292百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	309.01	—
2022年3月期第3四半期	509.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	167,023	54,020	32.3
2022年3月期	145,796	45,964	31.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 54,020百万円 2022年3月期 45,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,000	13.5	4,700	△55.3	3,500	△62.6	2,500	△68.4	184.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	13,585,521株	2022年3月期	13,585,521株
2023年3月期3Q	7,619株	2022年3月期	7,459株
2023年3月期3Q	13,578,013株	2022年3月期3Q	13,578,159株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年2月13日(月)に機関投資家、証券アナリスト向け説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する資料につきましては、決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりです。売上高は前年同期比で増収、営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で減益となりました。

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減 (増減率%)
売上高	92,106	110,106	18,000 (20)
営業利益	8,847	6,253	△2,594 (△29)
経常利益	8,064	5,312	△2,752 (△34)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,924	4,195	△2,728 (△39)

《経営環境》

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は以下のとおりです。

金属相場は、ウクライナ情勢の長期化と中国でのロックダウンの影響や欧米の政策金利上昇による景気減速感が強まったことで、期間を通して下落傾向が続きましたが、12月には中国のゼロコロナ政策の解除と為替がドル安に反転したことで、若干持ち直しました。

一方為替相場は、米国の大幅利上げにより、11月半ばまで米ドル高が進行しましたが、その後は米ドル安に転じております。

販売面では、半導体・部品不足による国内自動車産業の減産の影響を受け、主力製品の亜鉛・鉛は減販となりました。

《売上高》

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、製錬事業の亜鉛・鉛の減販や、資源事業の鉱石出荷の減少はありましたが、前年同期比では、亜鉛相場高及び円安により増収となりました。

《利益》

損益面では、主に製錬事業のエネルギーコスト及び諸資材の高騰による原価高の影響が大きく、資源事業の減産もあり、前年同期比で減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります（以下、各セグメントの売上高には、セグメント間売上高を含みません）。

① 製錬事業部門

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減 (増減率%)	
売上高	76,423	93,685	17,262	(23)
営業利益	5,668	4,421	△1,247	(△22)

《亜鉛》

LME相場は、4月に4,500ドル台の高値を付けた以降は下落に転じ、減販となったものの、期中平均では前年同期比での相場高及び円安により、売上高は24%の増収となりました。

《鉛》

円安により販売価格は上昇したものの、減販の影響が大きく、売上高は前年同期比で3%の減収となりました。

《銀》

前年同期比で相場安となったものの、増販及び円安により売上高は23%の増収となりました。

上記のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は増収となったものの、電力費などのエネルギーコストや諸資材の高騰から加工費が大幅に悪化したこともあり、前年同期比で減益となりました。

なお、金属相場及び為替相場（四半期平均）の推移は下表のとおりであります。

区 分	亜鉛		鉛		銀		為替レート	
	LME相場	国内価格	LME相場	国内価格	ロンドン 相 場	国内価格	円/米ドル	米ドル/ 豪ドル
2021年度								
第1四半期	2,916	370,967	2,127	291,400	26.7	95,400	109.49	0.7726
第2四半期	2,991	383,167	2,341	319,233	24.4	87,843	110.11	0.7701
第3四半期	3,365	437,167	2,331	325,567	23.3	86,687	113.71	0.7351
(累計平均)	3,091	397,100	2,266	312,067	24.8	89,977	111.10	0.7593
第4四半期	3,743	487,600	2,334	329,667	23.9	91,017	116.20	0.7286
(通期平均)	3,254	419,725	2,283	316,467	24.6	90,237	112.38	0.7516
2022年度								
第1四半期	3,925	563,900	2,203	348,233	22.6	96,007	129.57	0.7230
第2四半期	3,269	504,533	1,976	335,067	19.2	86,870	138.37	0.7150
第3四半期	3,004	477,867	2,100	357,867	21.2	98,067	141.59	0.6832
(累計平均)	3,399	515,433	2,093	347,056	21.0	93,648	136.51	0.7071

② 環境・リサイクル事業部門

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減 (増減率%)
売上高	3,605	4,268	663 (18)
営業利益	1,282	1,107	△175 (△14)

主力製品は減販となったものの、亜鉛相場高や円安により、売上高は前年同期比増収となりました。一方で諸資材やエネルギーコストの高騰による原価高などの影響もあり減益となりました。

③ 資源事業部門

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減 (増減率%)
売上高	10,122	8,053	△2,068 (△20)
営業利益又は営業損失 (△)	1,297	△144	△1,441 (－)

金属相場高や豪ドル安の影響はあったものの、鉱石の出荷減少の影響もあり売上高は前年同期比で減収となりました。また、粗鉱品位低下による減産と、これに伴う生産性の悪化により営業利益は赤字に転じました。

④ 電子部材・機能材料事業部門

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減 (増減率%)
売上高	3,950	4,493	542 (14)
営業利益	513	596	83 (16)

《電子部品》

電子部品事業は、EV市場拡大により車載電装向けの販売が増加し、また、円安もあり前年同期比で40%の増収となりました。

《電解鉄》

電解鉄事業は、米国の航空機用特殊鋼向けの販売が在庫調整で大幅に減少したことで、売上高は前年同期比で10%の減収となりました。

以上のほか、プレーティング事業や機器部品事業を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比で増収増益となりました。

⑤ その他事業部門

(単位：百万円)

	2021年12月期	2022年12月期	増減 (増減率%)
売上高	7,697	7,272	△425 (△6)
営業利益	657	514	△143 (△22)

防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業、運輸事業、環境分析事業等からなる当事業部門の業績は、亜鉛・鉛製品の減販に伴い運送荷物やリサイクル原料等の扱い量が減少したことなどもあり、前年同期比で減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産や鉱石購入前渡金、豪ドル高による海外子会社の固定資産増の影響などもあり、前連結会計年度末に比べ212億27百万円増加し、1,670億23百万円となりました。

負債については、運転資金需要への対応により有利子負債が増加し、前連結会計年度末に比べ131億71百万円増加し、1,130億2百万円となりました。

純資産は、利益の計上による利益剰余金の増加などもあり、前連結会計年度末に比べ80億55百万円増加し、540億20百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は32.3%となり、前連結会計年度末に比して、0.8ポイント上昇しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月11日公表の予想から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,929	10,893
受取手形、売掛金及び契約資産	17,594	19,158
電子記録債権	1,160	1,102
商品及び製品	10,726	15,084
仕掛品	16,088	18,055
原材料及び貯蔵品	25,263	26,740
その他	3,850	8,527
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	82,613	99,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,119	6,981
機械装置及び運搬具（純額）	10,395	10,030
土地	16,605	16,605
その他（純額）	1,150	1,976
有形固定資産合計	35,271	35,593
無形固定資産		
鉱業権	12,016	14,840
その他	43	39
無形固定資産合計	12,059	14,880
投資その他の資産		
投資有価証券	10,246	10,866
退職給付に係る資産	878	886
その他	5,615	6,122
貸倒引当金	△888	△887
投資その他の資産合計	15,852	16,987
固定資産合計	63,183	67,462
資産合計	145,796	167,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,720	12,937
短期借入金	30,100	39,998
1年内返済予定の長期借入金	10,192	2,900
コマーシャル・ペーパー	8,000	13,000
未払法人税等	1,044	1,270
引当金	280	311
資産除去債務	-	83
その他	12,065	8,258
流動負債合計	72,404	78,760
固定負債		
長期借入金	18,153	24,478
引当金	530	593
退職給付に係る負債	140	132
資産除去債務	4,116	4,536
再評価に係る繰延税金負債	4,173	4,173
その他	313	327
固定負債合計	27,427	34,242
負債合計	99,831	113,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	14,787	17,964
自己株式	△31	△31
株主資本合計	39,264	42,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	315	319
繰延ヘッジ損益	△3,668	△1,650
土地再評価差額金	8,610	8,610
為替換算調整勘定	912	3,816
退職給付に係る調整累計額	530	484
その他の包括利益累計額合計	6,700	11,579
純資産合計	45,964	54,020
負債純資産合計	145,796	167,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	92,106	110,106
売上原価	77,645	97,619
売上総利益	14,460	12,486
販売費及び一般管理費	5,613	6,233
営業利益	8,847	6,253
営業外収益		
受取利息	17	54
受取配当金	60	149
為替差益	-	318
その他	239	286
営業外収益合計	318	808
営業外費用		
支払利息	362	478
持分法による投資損失	65	512
環境対策費	408	689
その他	264	68
営業外費用合計	1,100	1,748
経常利益	8,064	5,312
特別利益		
固定資産売却益	230	11
投資有価証券売却益	8	17
特別利益合計	238	28
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	171	133
投資有価証券売却損	-	11
特別損失合計	172	145
税金等調整前四半期純利益	8,130	5,196
法人税、住民税及び事業税	1,105	1,148
法人税等調整額	100	△147
法人税等合計	1,206	1,000
四半期純利益	6,924	4,195
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,924	4,195

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	6,924	4,195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	3
繰延ヘッジ損益	△737	2,017
為替換算調整勘定	237	2,903
退職給付に係る調整額	△33	△45
その他の包括利益合計	△631	4,878
四半期包括利益	6,292	9,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,292	9,074
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計				
売上高									
外部顧客への売上高	75,756	3,605	5,232	3,950	88,545	3,560	92,106	—	92,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	666	—	4,889	—	5,556	4,136	9,692	△9,692	—
計	76,423	3,605	10,122	3,950	94,101	7,697	101,798	△9,692	92,106
セグメント利益	5,668	1,282	1,297	513	8,762	657	9,420	△572	8,847

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△572百万円には、セグメント間取引消去△208百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△364百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計				
売上高									
外部顧客への売上高	92,790	4,268	5,057	4,493	106,609	3,497	110,106	—	110,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	895	—	2,996	—	3,891	3,774	7,666	△7,666	—
計	93,685	4,268	8,053	4,493	110,501	7,272	117,773	△7,666	110,106
セグメント利益又は 損失(△)	4,421	1,107	△144	596	5,981	514	6,496	△243	6,253

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△243百万円には、セグメント間取引消去196百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△439百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料				
亜鉛製品	25,022	—	—	—	25,022	—	25,022	
鉛製品	19,177	—	—	—	19,177	—	19,177	
電気銀	22,539	—	—	—	22,539	—	22,539	
硫酸	1,087	—	—	—	1,087	—	1,087	
環境・リサイクル製品	—	3,613	—	—	3,613	—	3,613	
鉱石販売等	—	—	5,232	—	5,232	—	5,232	
電子部品	—	—	—	1,590	1,590	—	1,590	
電解鉄	—	—	—	1,096	1,096	—	1,096	
防音建材	—	—	—	—	—	1,018	1,018	
土木・建築・プラントエンジニアリング	—	—	—	—	—	1,134	1,134	
その他	9,256	—	—	1,263	10,519	1,407	11,926	
顧客との契約から生じる収益	77,083	3,613	5,232	3,950	89,880	3,560	93,441	
その他の収益	△1,327	△8	—	—	△1,335	—	△1,335	
外部顧客への売上高	75,756	3,605	5,232	3,950	88,545	3,560	92,106	

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	製錬	環境・リ サイクル	資源	電子部材・ 機能材料	計		
亜鉛製品	31,021	—	—	—	31,021	—	31,021
鉛製品	19,872	—	—	—	19,872	—	19,872
電気銀	26,763	—	—	—	26,763	—	26,763
硫酸	1,188	—	—	—	1,188	—	1,188
環境・リサイクル製品	—	4,456	—	—	4,456	—	4,456
鉱石販売等	—	—	4,993	—	4,993	—	4,993
電子部品	—	—	—	2,226	2,226	—	2,226
電解鉄	—	—	—	990	990	—	990
防音建材	—	—	—	—	—	1,080	1,080
土木・建築・プラントエンジニアリング	—	—	—	—	—	894	894
その他	12,951	—	—	1,276	14,227	1,522	15,749
顧客との契約から生じる収益	91,797	4,456	4,993	4,493	105,740	3,497	109,238
その他の収益	992	△187	63	—	868	—	868
外部顧客への売上高	92,790	4,268	5,057	4,493	106,609	3,497	110,106

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。